

<一輪挿し>

・リング状の部品の A 部寸法を部品ごとに変え、部品の間隔を 0.5 mm あけて R の形状にした。

・リング状の内側に板厚 2.0 mm の平板を 2 枚入れ、4 か所溶接したが、溶接痕が部品の隙間の 0.5 mm 以下に抑えることが難しく、また、溶接で平板が反ると一輪挿しが曲がってしまうことから、反らないような電流値、溶接位置、溶接順に留意して行った。

<薔薇>

・マシンで加工したような形状ではなく、より自然な薔薇の形状になるように、葉の切り欠きは、やすりで加工を行った。

・花びらの形状、配置のバランスを考え、1 枚ずつ溶接を行った。

<蝶>

・模様が映える蝶の大きさを実際いくつも製作検討し行った。

